

# シーニックバイウェイ北海道 2003

## 活動申請書

北海道におけるシーニックバイウェイ制度

導入モデル検討委員会

## 1. 村づくり研究会（真狩村、略称・村研）

活動エリア	真狩村内 道道岩内洞爺線など
活動人数	活動者合計[ 27人 農業者、商工業者、会社員、団体職員、公務員、教員らが参加 ]
これまでの活動実績	<p>平成2年、村内唯一の異業種交流グループとして発足以来、地域づくりに関する研究や勉強会、メンバーの研さんを積んできた。中でも、食用ユリ根の生産量日本一で、さらに道内有数の出荷量を誇る花ユリをPRするため平成5年に村内4カ所で展開した花ユリの歓迎花壇づくり、その取り組みを発展させ、翌年には村の会期100年記念事業への協力事業として道道岩内洞爺線の留寿都村界から市街地に向かって花ユリを植栽し、道路に沿う帯のようにユリを咲かせる「フラワーロード事業」を実施している。植える区間は現在約2<sup>キロ</sup>、球根は5万球に上り、盛夏・真狩の風物詩に育て上げてきた。植栽には村内はもちろん、札幌や伊達など村外からもボランティアで参加される方も増え、交流事業にもなっている。開花までの草刈りなど維持管理については、メンバー一丸となって取り組んでいるが、植栽用地を借りている沿線農家の協力も大きく、下準備(畑おこし)や草刈りなどの管理も手伝ってくれている。また、道路管理者の小樽土現でも、開花時期に合わせた草刈りのほか、PR看板の設置、さらに、フラワーロードや羊蹄山を安全に臨むスポットとして、当研究会が整備を働き掛けた駐車公園「フラワーパーク」も平成11年、土現の事業で完成し、多くの観光客らに利用されている。</p> <p>フラワーロード事業に関連した取り組みでは、フラワーロードをテーマにした「ファミリーフォトコンテスト」や、「開花日予想クイズ」を実施している。コンテスト優秀作品には、村内のフランス料理レストラン「マッカリーナ」の協賛による食事券などの商品を贈呈。クイズ当選者には村の農産物・特産品を送り、フラワーロードのPRを行っている。このほかの活動としては、当研究会名誉会員でもある黒柳真理さん(黒柳徹子さんの妹)らを講師に迎えた地域おこし講演会、市町村合併問題講演会を開催。道内外への視察研修も行い、メンバーの研さんを図っている。</p>
沿道景観および地域資源の概要	<p>景観では、市街地メインストリート正面にすそのを広げる羊蹄山の姿だ。道路がダウン・アップしたその先に羊蹄を臨む様子は、住民自慢のロケーションと言える。その市街地には2本の河川があり、河川公園が整備されていて、住民の憩いの場であり、本村出身の歌手・細川たかし像周辺は観光スポットにもなっている。また、留寿都村側から来ると、緩やかな丘陵地帯、その中に農家周辺の防風林が点在し、うねりの地形の先に、羊蹄やニセコ連山を眺望するシーンが広がる。特に夕暮れ時はニセコ連山のシルエットが夕日の中に浮かび、その瞬間を楽しむ人も多いと聞いている。このほか、レストラン「マッカリーナ」、露天風呂からの羊蹄が評判の真狩温泉やそれに隣接する「世界のユリ園」、羊蹄の湧水場、パークゴルフ場、キャンプ場を備えた羊蹄自然公園などが地域資源として挙げられる。</p>

活動内容	<p>村の風物詩にまで育て上げてきた、フラワーロード事業の継続実施をメインに、フォトコンテストなど関連事業の充実を図っていく。ことしも去る5月25日(日)に、メンバーほか村内外からの参加者約100人で植栽し、作業終了後、恒例の焼き肉会で交流を深めた。7月下旬には咲き誇る風景が見られよう。ユリは真狩ならではの資源であり、開花期間は限られるものの個性ある地域景観を演出する上で、欠かせないものであると考え、継続実施していく。また、若手農業者らによる真狩ウインターフェスティバル実行委員会が、フラワーパークキング周辺の農地を利用し冬のイベントとして展開しているスノーモービルランド、ラリー大会に対し情報発信などの応援を行っていききたい。同実行委には当研究会のメンバーも加わっており、互いに連携を取って、冬場の風物詩、観光資源づくりを目指したい。このほか、本年度から事業が着工する市街地メインストリートの道道拡幅に伴う市街地再整備、街並み景観整備に関しても、スポット整備に対する提案活動を取り組んでいく考えだ。村内には、自宅敷地内を花で飾り、あずまやを作って、農産物を販売している農家もいる。こうした個人の取り組みも情報発信していけたらと考えている。こうした活動にシーニックパイウェイ制度プログラムとの連携を取り込みながら効果を上げていきたい。</p>
活動の達成目標	<p>フラワーロード事業による村のPR効果を検証し、関連事業を含め今後の活動充実につなげるとともに、新たな企画の創造、課題を探りたい。フラワーロード植栽作業への参加人数200人、中でも村外からの参加者100人を、また、フォトコンテスト応募作品100点が目標だ。</p>
活動の特徴	<p>メイン事業であるフラワーロード事業では、主に球根代などの調達費を村からの助成金で賄っている。財政状況が厳しい中で、趣旨に理解をいただき、協力してもらっている。さらにメンバーにも職員が参加し、事務作業などの大きな応援をもらっていることに対し、感謝している。また、学校関係者や金融機関からも会員参加があり、いわゆる転勤族の方にも参加を呼び掛け、転勤後にも村のPRをしていただいたり、地元住民とは異なる視点から、活動に対する意見も貴重なものとなっている。活動費は、フラワーロード事業以外は、月1000円の会費で賄っている状況だ。先に紹介した黒柳さんとの交流も、農村と都会とのつなぎ役を担っていただいていると考えている。</p> <p>活動成果については、これまでの実績で触れた内容だ。いずれの取り組みも、住民や村役場などの関係機関の協力で、着実な成果につながっているものと考えている。</p>
活動体制	<p>村役場をはじめ村商工会、観光協会、マッカーナ、真狩高校、ウインターフェス実行委などとの協力体制や連携を図っている。また、先にニセコ・羊蹄周辺町村の住民有志らで発足した「ニセコ・羊蹄再発見の会」にもメンバーを送り込んでおり、同会との連携も図っていけるのではないかと考えている。</p>

## 2. 共和町商工会青年部

活動エリア	岩内洞爺線（道道 66 号線）
活動人数	活動者合計 [ 22 ] 人
これまでの活動実績	神仙沼周辺道路のクリーン作戦 平成 5 年より毎年実施している
沿道景観および地域資源の概要	神仙沼自然休養林 神仙沼周辺に広がるのが自然休養林。海拔 750 m 以上の高原に位置し、神仙沼、大沼、長沼、そして大谷地などの湖沼や湿原が点在している。様々な高山植物が季節を彩り心を和ませます。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちの観光資源でもある神仙沼周辺道路のゴミひろい</li> <li>・ 資源調査 パノラマラインのビューポイント発掘 調査に基づいての提案・計画</li> <li>・ 神仙沼の歩く歩道の 100 円募金の告知</li> </ul>
活動の達成目標	クリーン作戦の範囲を広げる 1 人 1 km 2 km 全体の範囲を周囲 20 km とする
活動の特徴	まちの観光資源でもある神仙沼とパノラマラインの自然景観と岩内湾を一望できる景観を PR し、観光振興に役立てたい
活動体制	観光協会等他団体への呼びかけの実施

### 3. ニセコ羊蹄再発見の会 WAO

活動エリア	ニセコ羊蹄山麓エリア
活動人数	活動者合計 [ 45 名 ]
これまでの活動実績	「ニセコ・羊蹄地域の観光振興のために」の講演会開催
沿道景観および地域資源の概要	<p>ニセコ連山、羊蹄山の裾野に広がる森林地帯、農地、川などの景観は、元からあった自然と人間が手を加えてできた農地や道路、構築物とあいまって変化に富んだ豊かな景観を作り出している。スキーを中心に冬季の観光地として観光化が進んだが、近年は川を使った多様なスポーツを楽しめるエリアとして春から秋にかけての観光エリアとして注目されている。</p> <p>さらに、おいしい水、食材の宝庫で農産物は質の高いものが多い。これらの農地が沿道景観の重要な要素になっているが、沿道景観についての観光資源化はほとんど進んでいない。冬の観光から発展してきたためか、景観・環境整備は、始まったばかりで景観への意識の高まりと現実のギャップがまだ大きいのが現状である。</p>
活動内容	<p>ニセコ羊蹄山周辺の優れた景観の再発見とその情報の発信</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. そのために、会員による景観調査会を7月に第1回として実施予定、今後継続的に実施し情報の検証、新たな情報の発見に努める。</li> <li>2. 年内にフォトコンテストを実施する。これには地域内の多くの観光、まちづくりの団体等に広く協力を呼びかけ、ニセコ羊蹄山周辺の広範囲に実施する。これ自体が観光イベントとして地域 PR の手段となり、さらに、この結果として出てくる作品は地域固有の観光商品の材料とする。</li> <li>3. 町村単位で地域活動をする地域おこし、まちづくりの会をネットワークし、各地域内のビューポイント情報を総合的に集約する。(2と同時進行)</li> <li>4. これら集約された情報により、広域的な景観マップの作成を行う。(来春をめどとする) 優れた景観フォトを利用したはがき、カレンダー、Tシャツなど商品への利用を提案し、商品化を進める。これにより、継続した会の活動資金の確保を目指す。(来年度中の事業者を目指す)</li> <li>5. HP の立ち上げにより集めた地域情報の発信を行う。</li> <li>6. 優れたロードサイドの景観ポイントの再発見により、出てきたポイントについて専門家を交えた周辺環境調査を実施し、周辺環境整備とその必要性の周知を訴え、整備の実現に取り組む。モデル事業により、具体的な提案が具現化できるところまでを目指す。</li> <li>7. 継続的な勉強会・講演会の実施。景観改善への啓蒙活動を含む。年3~4回予定</li> </ol>
活動の達成目標	<p>2003 年度中に、景観マップの作成、HP による情報発信。</p> <p>2004 年度中に道路景観の魅力を PR できる商品の開発。</p>

活動の特徴	<p>行政や企業から独立した地域を愛する、地域の景観をよりよくしたいと願う市民団体であることを基本とする。</p> <p>広域的にネットワークする団体としての特徴を活かし、個々の地域での活動団体が行う町おこしと協力して、広域的な地域での連続性を持たせる調整、提案、情報提供をする。</p> <p>観光資源の新たな発見と、よりの確な情報の発信により、四季を通じてより多くの来訪者が訪れ、来訪者により高い満足度を与える情報サービスの提供する。</p> <p>観光資源の新たな発見と、地域の環境整備により地域住民の意識改革をすすめ、良い景観、良い環境が観光資源としてだけでなく、自分達の誇りとなり生活環境を良くする結果となるよう啓蒙活動を行う。</p>
活動体制	地域住民と地域の団体、および我々の活動に賛同する他地域の居住者および団体。

#### 4. ひらふネット研究会

活動エリア	国道5号、276号、道道343号、倶知安町道、その他
活動人数	活動者合計 10人
これまでの活動実績	平成14年8月ニセコひらふ活性化セミナーを主催 平成14年10月 マイクロソフトと共催でIT講習会を開催 毎月1、2回の会合とメーリングリストで地域の活性化プランの検討を行う。
沿道景観および地域資源の概要	ニセコひらふ地域はスキーの聖地ニセコアンヌプリの東側山麓部に広がるリゾート地域です。正面には羊蹄山が一望でき、麓にはラフティングやカヌー、フィッシングを楽しめる清流尻別川が流れています。 また、ニセコひらふ地域は約150軒のホテル、旅館、ペンション、民宿、飲食施設が建ち並び、その宿泊収容人員は道内有数で、国内だけではなくオセアニアや東アジア地域をはじめ海外からも多くのお客様にお越しいただいています。
活動内容	私たちは多くのお客様に楽しく快適に過ごしていただける地域を目指して活動を行っておりますが、その中で、将来は世界の山岳リゾートと比較されても恥ずかしくない地域づくりをしていきたいと考えております。 ここ数年、海外からの個人旅行客が急激に増えて、道案内に苦労することが多くなりました。アメリカやヨーロッパの様に地域内の道路や交差点に判りやすく愛着の持てる名称をつけ、様々な媒体（紙、メディア、Web、道路標識）で表示すれば目的地へ案内が便利になると考えました。 今回の活動は北海道を代表する山岳リゾートとして、自然の景観にマッチした道路の名称や表示方法（道路標識やマップのデザイン）を専門家のアドバイスを受けながら検討し、来場者に対する調査をしていく予定であります。 全国統一の無機質なものではなく、羊蹄山やニセコの山々の景観に合うような案内が整う第一歩になれば嬉しく思います。
活動の達成目標	専門家を招いて原案を作成した上で1000件程度の来場者や来場予定者にアンケート調査を行い、具体的なプランや提案をまとめる予定です。
活動の特徴	本来はインターネット等の情報技術による観光の活性化を検討、推進する地元有志の集まりであり効果的な情報の収集やプランの策定が可能です。 また、各メンバーとも普段はお客様に接する現場で仕事をしているので、来場者や地域のニーズをよく把握しており、現実的な企画が生まれてくると考えております。
活動体制	ニセコ山麓地域の観光関係者や行政と連絡を密にして、今回の結果を他の地域でも応用可能なプランや提案をまとめていきたいと思っております。

## 5 .(社)洞爺湖温泉観光協会

活動エリア	虻田郡虻田町地内
活動人数	活動者合計 20 人
これまでの活動実績	MOVE 洞爺湖のイベントでボランティアを募り、洞爺湖温泉のゴミ拾い植栽などを行っている。
沿道景観および地域資源の概要	洞爺湖畔には、彫刻が点在し道路で周遊することができる地域で、交通網も充実しているところであります。都市間までの道路については洞爺湖そして羊蹄山を望みながらドライブできるコースとなっています。
活動内容	<p>北海道観光の魅力として、花畑などが観光の魅力として取り上げられております。このような状況の中、洞爺湖温泉周辺は現在有珠山噴火により周辺で道路工事や砂防工事が行われており、周辺の環境整備まで至っていない状況であります。今後、植樹や植栽を道路沿線で行いながら、周辺の看板や建物などが、景観にあった整備を行っていきたいと考えております。そのはじめに、花和地区において景観に馴染んだ花畑を整備し、そこを出発点とし周辺の整備を行っていきたいと考えております。</p> <p>1) 道路沿線の植樹・植栽                      2) 周辺の看板や建物の景観に調和した整備 3) 花和地区における花畑整備              4) 洞爺湖畔沿いの草刈、清掃、植樹</p>
活動の達成目標	洞爺湖温泉には、年間320万人の観光客が訪れているが、この地域に花壇等が整備されることにより、新しい観光名所として訪れる観光客が1割近く増加するものと思われる。
活動の特徴	<p>洞爺湖の風景とは違うロケーションでこの地域で実施することによって、新しい観光名所として紹介することができる。</p> <p>また、この近くを通る国道230号は札幌までの主要幹線道路であり、車で通過する人たちが風景を通して癒される地域となる。</p> <p>整備に関しては、私有地を利用するので地権者の了解を得、計画的に整備をしていけば、長期的に見ると金額的には低廉で事業が行えることができるとともに、景観の評価としても充分受けられるものと思われる。</p>
活動体制	虻田町洞爺湖温泉には、NPO 法人洞爺にぎわいネットワークがあり、この団体もまちづくりに活動しているので、事業に関しては連携をとって活動していきたい。

## 6 . 大滝冒険倶楽部 ( NPO 法人エコビレッジ大滝 )

活動エリア	大滝村 三階滝～
活動人数	活動者合計 10 人
これまでの活動実績	冬期：冬の自然活動体験メニューづくり ( スノーシュー、イグル作り、スノーモビル等 ) 夏期：夏の自然活動体験メニューづくり ( 沢歩き、川下り、ホーストレッキング )
沿道景観および地域資源の概要	山河に恵まれた自然資源の間を国道 4 5 3 号線が走る。 国道沿いに旧胆振線があり、一部自然歩道となっている。 夏は川、冬は雪という資源を使って自然体験活動が可能。
活動内容	6 月に設立された NPO 法人を母体にして、自然活動をする地元のグループ大滝冒険倶楽部が主体となって自然体験メニューを制作中。 観光メニューづくり：自然体験メニュー ( トレッキング、川下り等 ) 馬の歩く道景観づくり：旧胆振線に馬を歩かせる  これらのコンテンツの情報発信をホームページにてすること
活動の達成目標	自然メニューを作って 50 名の体験をさせること 村の管理する旧胆振線のルート及びノルランクコースを NPO で管理することを交渉
活動の特徴	村を巻き込んだダイナミックな活動。 村や観光協会と協力体制をとって、大滝村のアイデンティティづくりに動く機動力をもつこと。
活動体制	NPO 羅針盤 アクティブ 地元ケーブルテレビ局

## 7. 壮瞥町観光協会

活動エリア	有珠郡壮瞥町昭和新山
活動人数	活動者合計 42 人
これまでの活動実績	花壇、プランター整備事業 桜の植栽管理事業 花畑整備事業
沿道景観および地域資源の概要	昭和新山 洞爺湖 壮瞥公園
活動内容	花壇プランター整備：沿道や各資源（上記）近隣にプランター等を設置、年3回植栽を行う。 桜の植栽管理：景観に合う樹木（桜）を適地に植栽を行う。 花畑整備：道道沿線（壮瞥温泉）にひまわり（夏カラシ等）の植栽を行う。
活動の達成目標	洞爺湖や昭和新山等におけるお立ちよりのための景観整備ですので、数値にするのは難しい。
活動の特徴	町の景観整備。お立ちよりされるお客様を第一に考えています。
活動体制	壮瞥温泉等の地域の方の協力を頂いている。

## 8 . N P O法人 グラウンドワーク西神楽

活動エリア	国道237号線 旭川市西御料（JR駅）～西神楽（JR駅）の間 約4.7kmの区間
活動人数	活動者合計[ 当NPO個人会員中 32人 西神楽住民参加者による ]
これまでの活動実績	平成8年任意団体「西神楽地域づくり研究会」として発足、平成13年度10月NPOとして認証され、地域の環境や景観の改善についての調査報告、農業環境の改善の検討、さと川づくり事業などの支援活動をしてきた。（別紙参照）
沿道景観および地域資源の概要	<p>現状の沿道の景観は雑草、雑木が繁茂し、一部に地域近住民が家庭菜園を耕作している箇所が散在している。5号～12号の沿線の両側は田んぼとなっており、景観形成に対する工夫、対策は未だなされてはいない。</p> <p>この米作地域ではカメムシの発生源の一つとしても問題視されている。</p>
活動内容	<p>JR富良野線と並行している国道237号線のこの区間約4.7km、幅約15～20mの細い帯状の地帯の現状は、景観的には何の工夫もなされていないので、この地域の景観を改善することにより美しい沿道づくりを実現したい。</p> <p>活動方法としては、まず地域住民の理解と協力が前提であり、当NPOがこれを支援し、更に行政との各種の協議により現地調査、景観コンセプトの検討及び作業分担、スケジュール作成、その他必要事項の検討調査を行う必要があり、地域の住民が主体となって参画し、作業を推進することを基本的方針とする。</p> <p>このためこの事業を推進する地元の団体として「西神楽シーニックバイウェイ推進協議会」を組織して計画を立案、実施してゆきたい。</p> <p>またこの国道沿線の西神楽駅前には築80年経ったレンガ造りの老朽化した空き同然の倉庫があり、今は農協が管理している。この倉庫が小樽、函館のような観光施設として、例えば道の駅とかレストラン、地場産品の即売など多目的にリニューアル活用が出来れば地元にとっては景観形成及び活性化及びのシンボルとなると思われる。</p>

活動の達成目標	<p>西神楽を縦断して並行して走る JR 線と国道 2 3 7 は、この地域の景観形成に最大の影響を与えているので、調査、計画策定、実施を含めて 3 年計画で目標を達成したい。</p> <p>上記活動エリアは第 1 期達成目標であり、第 2 期以降としては美瑛方向へ延長したい。</p>
活動の特徴	<p>当 N P O の会員中には植物の研究者（塩田先生、船橋先生）昆虫類、水生動物の研究者（建脇先生）などが在籍し、旭川市からの依頼或いは小中学校生徒の自然環境の学習、調査、指導に当たっている。 現地の調査に当たってはこれらの先生方に指導を頂き、植生等の検討をよくした上で景観形成の基本案をまとめたい。</p> <p>また沿道の清掃管理、景観を阻害する障害物などの点検、沿道の緑化など地域環境や資源の保全等の管理面については当 N P O が支援し「西神楽シーニックバイウェイ推進協議会」を運営し地域の関連企業とのタイアップによる工事の推進、及び保全管理を行う。</p> <p>本協議会は計画当初から地域におけるシーニックバイウェイ事業の主体として地域住民の参画（ボランティア含む）により推進するが、当 N P O 会員による専任者分の若干の人件費が必要である。但し工事費、設計費その他工事に関する直接的費用は別途見積による。</p>
活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当 N P O が支援する「西神楽シーニックバイウェイ推進協議会」により責任ある事業活動及び保全管理体制をつくり、地域における景観形成及び保全に努力する。</li> <li>・ 本事業の提携、協力団体として、地域の市民委員会 3 団体、J A 西神楽、西神楽土地改良区、西神楽商工会、旭川市西神楽支所、J R 関係、老人クラブ、などの地域の諸団体と連携して事業を推進する。</li> </ul>

## 9. 「レイクトピア21」推進協議会エコミュージアム構想策定部会

活動エリア	伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町（別紙地図参照）
活動人数	活動者合計 [ 14 ] 人
これまでの活動実績	別紙1参照
沿道景観及び地域資源の概要	別紙2参照
活動内容	<p>目的：洞爺湖周辺地域6市町村（伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町）では、「レイクトピア21」推進協議会エコミュージアム構想策定部会において「洞爺湖周辺地域エコミュージアム（自然博物館）構想」を推進しております。</p> <p>2000年3月の有珠山噴火は洞爺湖周辺地域に大きな被害をもたらし、災害からの早期復興のため、「北海道活性化懇談会」において火山遺構を新たな観光資源として活用する方策が提言されました。「洞爺湖周辺地域におけるエコミュージアムの構想」はその後、北海道開発局室蘭開発建設部や財団法人北海道地域総合振興機構、北海道そして西胆振6市町村が中心となって検討が重ねられ2002年6月に取りまとめました。</p> <p>エコミュージアム（自然博物館）は、地域の資源を新たに認識し、その資源を活かして、より魅力的なふるさと、地域を創造しようとする取り組みであります。</p> <p>内容：・洞爺湖周辺地域エコミュージアム（自然博物館）構想の策定と推進          ・ホームページ、パンフレット等による情報発信</p> <p>【ハード系事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（サテライト）の保存整備</li> <li>・テーマセンター（コア施設）の整備</li> <li>・サテライト、コア施設を結ぶネットワーク道路・散策路等の整備</li> <li>・情報発信事業として統一サイン（看板）整備に関する調査、検討</li> </ul> <p>【ソフト系事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営（住民）組織の具体化と人材育成事業の推進</li> </ul>

活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源（サテライト）の保存整備 18 資源</li> <li>・ テーマセンター（コア施設）の整備 3 施設</li> <li>・ トレイル・ネットワーク等整備 35 事業</li> <li>・ 統一サイン（看板）の設置 58 箇所</li> <li>・ 運営（住民）組織の具体化</li> </ul>
活動の特徴	<p>洞爺湖周辺6市町村による広域の取り組みとして「洞爺湖周辺地域エコミュージアム（自然博物館）」構想を推進しており、北海道開発局室蘭開発建設部や北海道等、関係機関と連携した新たな地域振興策として特徴がある。</p>
活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成員 伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町</li> <li>・ アドバイザー 北海道開発局室蘭開発建設部地域振興対策室 林野庁北海道森林管理局函館分局後志森林管理署室蘭事務所 環境省自然環境局支笏洞爺国立公園洞爺湖自然保護官事務所 北海道胆振支庁地域政策部地域政策課 北海道室蘭土木現業所企画総務部企画調整室 北海道室蘭土木現業所洞爺出張所</li> <li>・ オブザーバー・協力者 北海道総合企画部有珠山火山活動災害復興対策室 財団法人北海道地域総合振興機構事業部</li> </ul>

## 別紙 1

### 「レイクトピア21」推進協議会 エコミュージアム構想策定部会活動実績

#### 経 過

「有珠山周辺地域エコミュージアム検討会」設置（室蘭開発建設部・はまなす財団）

目 的： エコミュージアムの可能性、今後の地域振興のあり方を検討

構成メンバー： 伊達市、虻田町、豊浦町、洞爺村、大滝村、壮瞥町

胆振支庁、室蘭土木現業所、室蘭開発建設部、はまなす財団

検討会開催状況：第1回 平成12年12月 6日 エコミュージアム概論、国内外の事例紹介

第2回 平成13年 1月25日 エコミュージアムの基本理念、  
テーマの検討 など

第3回 平成13年 3月28日 今後の進め方、体制の検討  
など

#### 事業報告

「レイクトピア21」推進協議会としての取組み経過

平成13年6月11日 「レイクトピア21」推進協議会総会で位置づけ

議案第1号 事業計画1(4) 有珠山周辺地域エコミュージアム構想の推進

平成13年7月18日 はまなす財団へプロジェクト育成推進事業助成申請

8月 1日 採択の内示

平成13年8月22日 第1回幹事会（部会設置、事業計画、予算）

#### エコミュージアム構想策定部会 事業報告

平成13年9月 4日 第1回部会

10月10日～12日 徳島県 あさんライブミュージアム 視察

（6市町村幹事、北海道開発局、北海道、はまなす財団等 18名）

10月29日 第2回幹事会 （基本構想案）

11月 9日 第2回部会 （基本構想案）

11月21日 有識者との意見交換会 （北海道大学 宇井忠英教授）

12月27日 第3回幹事会 （基本構想案、ロゴ、統一サインほか）

平成14年1月18日 市町村関係課（観光、教育担当課）との情報交換会

1月20日 住民との意見交換会 （51名参加）

2月 6日 市町村長への構想案中間報告会

3月 1日 第3回部会、第4回幹事会 （基本計画）

3月26日 第4回部会 （基本構想、計画案 最終）

- 3月27日 「火山の恵みエリア」現地意見交換会（40名参加）
- 6月27日 第5回幹事会 （構想パンフの案、HP案の検討、ロゴの選定方法、住民組織の検討、サイン共通仕様等）
- 7月18日 第5回部会 （協議事項 同上）
- 8月1日 各市町村へ照会 （住民組織（団体）に関する調査）
- 8月29日 第6回幹事会 （平成14年度地域資源活用構想等支援調査 事業計画 補正予算 住民組織の検討、サイン関係共通仕様等ロゴの選定方法、シンポジウム・WS等）
- 9月13日 第6回部会 （構想パンフレットの作成・配布、HP作成（報告）住民組織の検討、サイン関係共通仕様等 ロゴの選定方法、シンポジウム・WS等について）
- 10月1日 第7回幹事会 （シンポジウム・WS等について）
- 10月9日 首長会議 （経過報告・事業等の実施結果報告 事業計画（案）・事業補正予算（案）シンポジウム・WS等について）
- 10月17日 第7回部会 （シンポジウム・WS等について、サイン計画、住民組織の検討）
- 10月26日 シンポジウムの開催 150名参加、エコミュージアム宣言、ロゴマーク選定）
- 10月26日～27日 住民WSの開催 （30名参加）
- 11月 先進地視察 （徳島県板野町他）
- 12月2日 第8回部会 （シンポジウム・WSの開催結果、サイン計画、住民組織の検討等）
- 12月24日 第8回幹事会 （サイン計画、住民組織の検討等）
- 平成15年2月7日 第9回部会 （協議事項 同上）
- 3月24日 第9回幹事会 （平成14年度事業の総括と今後の進め方 サイン計画、住民組織の検討等）
- 3月26日 第10回部会

#### 実施結果

- ・ 構想パンフレットの作成・配布
 

第1版	平成14年9月作成	40,000部	A4版	8p	見開き	各世帯配布
第2版	3月作成	10,000部	"	"	"	関係機関配布
- ・ HPの作成
 

上記パンフレットを基本とし、作成。

アドレス <http://www.sobetsu.hokkaido.jp/eco/index.htm>
- ・ 統一ロゴマークの選定

募集期間：平成14年9月2日から30日

募集状況：デザイナー案（5作品）への投票574件、作品の応募58件

選定：選定委員会（委員長 元NHK解説委員 伊藤和明氏）を開催し選定した。

- ・ 住民組織、説明版等共通仕様の検討
- ・ 事業実施計画書の策定
- ・ 構想の周知と住民参加

平成14年10月26日 シンポジウム 150名参加 ホテルサンパレス  
エコミュージアム宣言

平成14年10月26日～27日 住民ワークショップ 30名参加 ホテルサンパレス

洞爺

湖文化センター

## 伊達市

有珠郷土館	有珠善光寺	バチューラー夫妻記念教会堂
北黄金貝塚	伊達市開拓記念館	伊達歴史の杜カルチャーセンター
有珠山	B&G伊達海洋センター	アルトリ岬キャンプ場
水車アヤマ川自然公園	有珠湾	伊達温泉
トーヤレイクヒルゴルフ倶楽部	黎明館（道の駅だて歴史の杜）	伊達歴史街道（歴史的な町並み）
アレフ牧場	藍畑	グルメ街道
大雄寺	刀鍛冶工房（個人所有）	醤油工房跡（個人所有）
館山公園	胆振青年の家	柿の木
サイクリングロード	有珠モシリ遺跡	弄月館（温泉）
水と歴史の散歩道	プライム・ヘルシータウン	伊達カントリークラブ
茜ゴルフクラブ	噴火湾（内浦湾）	

## 虻田町

あぶた郷土資料館	入江貝塚公園	虻田町歴史公園
有珠山	虻田町立火山科学館	洞爺湖ぐるっと彫刻公園
グリーンステイ洞爺湖オートキャンプ場	有珠山噴火記念公園	洞爺湖温泉
洞爺湖	西山火口群	西山火口散策路
金比羅火口	泉池	町営住宅
木の実橋	やすらぎの家	西胆振消防本部

## 壮瞥町

有珠山	昭和新山	キムンドの滝
壮瞥川散策路	中島	洞爺湖
森林博物館	昭和新山熊牧場	滝之上キャンプ場
仲洞爺キャンプ場	横綱北の湖記念館・壮瞥町郷土史料館	三松正夫記念館
道の駅「そうべつサムズ」	森と木の里センター	壮瞥温泉
壮瞥公園	蟠渓温泉	オロフレスキー場
オロフレ峠	ゆーあいの家	洞爺湖温泉
洞爺湖ぐるっと彫刻公園	来夢人の家（キムンドの家）	壮瞥滝

長流川	久保内ふれあいセンター	壮瞥町パークゴルフ場
有珠山ロープウェー	四十三山火山口	新山沼
弁景温泉	昭和新山国際雪合戦	旧国鉄胆振線鉄橋跡
1977年火山遺構公園	火山性微動発見の地	

#### 豊浦町

カムイチャシ史蹟公園	豊浦森林公園	礼文華海岸
噴火湾展望公園	豊浦町文学碑公園	インディアン水車公園
クリエート豊浦	天然豊浦温泉「しおさい」	岩屋観音
豊浦漁港フィッシャリーナ	昆布岳	噴火湾（内浦湾）

#### 洞爺村

岩屋観音	洞爺湖	サイロ展望台
観湖台	浮見堂公園	どさんこ牧場
洞爺少年自然の家	武四郎坂駐車公園	洞爺村いこいの家
「観音温泉」昂の郷	三樹の木（老三樹）	栄藤
与謝野鉄幹・晶子歌碑	湖畔遊歩道（水辺の森の小径）	初霜山
義経岩	烏帽子岩	洞爺湖ぐるっと彫刻公園

#### 大滝村

大滝村工芸館	三階滝公園	大滝村森林せせらぎ館
白絹の床	道の駅「フォーレスト276大滝」	北湯沢温泉郷
優徳友情公園	徳舜警山、ホ口ホ口山	

## 10. 支笏湖まちづくりプロジェクト

活動エリア	支笏湖周辺道路（国道・道道・市道及び林道などその他の道路）
活動人数	活動者合計 [ 10 ] 人
これまでの活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「支笏湖まちづくりビジョン＝10年後を目指して」を策定</li> <li>・クリスマスイベントの実施</li> <li>・ギャラリーウォークの実施</li> </ul>
沿道景観および地域資源の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい規制のなかで守られてきた支笏湖を取り巻く自然景観</li> <li>・千歳～支笏湖～大滝にわたる緑の回廊とも言える沿道景観</li> <li>・支笏湖、オコタンペコ、支笏湖外輪山（樽前山・恵庭岳・風不死岳・紋別岳他）丸山遠見・苔の洞門・水明溪谷・温泉・滝・歴史的建造物（ひめます孵化場・王子迎賓館・旧ユースホステル・他）</li> </ul>
活動内容	<p>支笏湖地区の活性化と環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店街やホテルとの勉強会の開催</li> <li>支笏湖資源発掘マップの作成</li> <li>既存組織の見直し</li> <li>ギャラリーウォークの継続</li> <li>クリスマスイルミネーション継続</li> <li>ピジターセンターの夜間プログラムの実施</li> <li>歴史的建造物の活用や既存施設を活用した拠点施設の設置と運営</li> <li>まちなか、道路、各拠点の清掃活動</li> <li>適正利用（オーバーユース対策）や水面利用のルールの創出</li> <li>少子高齢化対策</li> <li>住民・近隣住民・観光客を巻き込んだ湖畔花壇づくりイベントの開催</li> </ul> <p>新しい観光づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンリーワンの自然体験プログラムの企画・運営</li> <li>トレイルコース（フットパス）の選定と整備</li> <li>季節や支笏湖の自然にマッチした大小のイベントの企画・運営</li> <li>国道沿道や園地及び周辺道の季節の庭づくりとルールの創出</li> <li>総合インフォメーションの創出</li> <li>遊休建物のこだわりショップ化</li> <li>各種教室又は講座の開催</li> <li>環境省の緑のダイヤモンド計画やそれに伴う道路改良工事における景観や植栽及び設置物のデザイン等の提言・要望</li> <li>外客誘致用パンフレットの製作及び配布</li> </ul>
活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり会社(NPO)の創設及び地域活性化及びまちづくり</li> </ul>
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支笏湖地区の住民事業者、行政機関が一体となった活動の推進</li> <li>・ 住民が楽しく笑顔で生活できるまちづくりを行い、観光で訪れる人々にも静かにゆっくりと落ち着いて滞在頂けるスローな休日を過せる場所を目指す。</li> </ul>
活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支笏湖の住民はもとより、千歳市民や支笏湖のファンの協力を幅広く仰ぎ活動の充実を図る。</li> <li>・ 支笏湖地区における既存組織の見直しと温泉地区活性化協議会の創設をはかり強固な活動体制を整備する。</li> </ul>

## 11. 二セコ広域観光委員会

活動エリア	道道343号線とそこからつながる道路、および尻別川沿い
活動人数	活動者合計 [ 25 ]人
これまでの活動実績	2002.6 / マスコミ関係招聘事業（東京方面からマスコミ関係者を二セコに招待し二セコの良さを体験してもらいそれぞれの分野でPRしてもらった。） 2003.5/ 札幌三越での二セコフェア（グリーンシーズンの二セコをPRするためアウトドア関係の展示、トークショーを実施。同時に物産販売も行う。）
沿道景観および地域資源の概要	農業を主要産業としている二セコでは1年を通して農村風景の移り変わりを見ることができる。春の作付け、夏の除草防除などの管理作業そして秋の収穫作業とそれぞれに人々の営みの姿がうつしだされます。そしていつもその後ろには「羊蹄山」が聳え立っている。またこの羊蹄山を一回りするよう日本一きれいな流れの「尻別川」が流れその景観もまた二セコのおおきな財産となっている。
活動内容	1. 道道343号線沿いのインフォメーションの充実。（フリーペーパー作成と配布作業、） 2. 秋、今年度のマスコミ招聘事業の実施。（農産物をテーマとした二セコの魅力の掘り起こし、およびPR） 3. 来年度以降、インフォメーションセンター機能を持った施設の充実。 4. 道道343号線沿い、尻別川沿いなどを利用した遊歩道の整備、促進事業の展開。
活動の達成目標	今年度はフリーペーパー1～2万枚作成、配布。マスコミ関係者6～10名招待。 来年度以降、インフォメーションセンター機能を持った施設3～5箇所設置。 遊歩道整備については年に1箇所ずつでも作っていききたい。
活動の特徴	この委員会は3観光協会が集まって2年前に設立されました。二セコリゾート観光協会が8年前から実施している大都市キャンペーン（東京、大阪などの出版社、旅行会社をまわり二セコをPRしている。/年2回実施）の結果地域を売る場合広域で行わなければ効果が出ない、ということだった。その結果予算の確保がしやすくなる。人員の確保にも余裕がでてくる。外部からみて「二セコ」のイメージと活動エリアがあってきている。
活動体制	二セコ、倶知安、蘭越の3観光協会のメンバーが集まって活動している組織でありそれぞれの観光協会のバックアップのもとに事業を行っている。またイベント実施の時には関連する地域の自治体、事業者、個人などの協力も協会を通して依頼をしている。

## 12 . NPO ネイティブクラーク

活動エリア	旭川～美瑛～富良野
活動人数	活動者合計 [ 13 ] 人
これまでの活動実績	森林愛護騎馬隊ボランティア活動
沿道景観および地域資源の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広がりのある丘陵地域・田舎の変化</li> <li>・ 豊かな植物、人々の暮らしと時間（くらしの豊かなソフトがある）</li> <li>・ 他では味わえない大雪連峰の山々を含む景観</li> <li>・ おいしい農作物（新鮮な）</li> </ul>
活動内容	<p>美しい沿道景観のため馬を手段として、地域の動植物の保護、保食しながら自然との共生を計ります。</p> <p>旭川、美瑛、富良野の乗馬施設と連携し、237号線沿にブライドルパスが可能かどうか調査いたします。</p> <p>北海道を訪れる人達が287号は、馬が通れる道があるということをイベント等の開催により印象づけます。</p>
活動の達成目標	旭川～美瑛～富良野およそ100km程度の範囲で調査にいたします。
活動の特徴	馬のある原風景作りと環境にやさしい道作りの調査する。
活動体制	理事長他スタッフ12名体制で行います。

### 13. ニセコ21世紀まちづくり実行委員会

活動エリア	ニセコ町 国道5号及び道道岩内洞爺線
活動人数	活動者合計 [ 実行委員 148名 ]
これまでの活動実績	ニセコ花フェスタ2002 綺羅街道 実施 2002国際花サミット inニセコ 実施 第1回フラワーマスター全道交流会 実施
沿道景観および地域資源の概要	道道岩内洞爺線沿線と国道5号線からの羊蹄山、ニセコ山系の自然景観及び農村景観とニセコ市外地域（国道5号元町交差点道の駅ニセコビューパザ から JRニセコ駅区間）の綺羅街道沿道景観（花フェスタ活動区間）有島記念館等
活動内容	国道5号元町交差点（道の駅ニセコビューパザ）からJRニセコ駅区間において、純粋な地域住民により組織された「ニセコ21世紀まちづくり実行委員会」が沿道景観を花と緑により街区のトータルコーディネートを住民参加により実施計画を策定し、住民参加により花苗移植から管理、及び関連事業までを行い、道路沿線環境の整備により市街地域（商店街区と生活空間）の観光資源化を実現し、合せて各種共催事業（観光協会、商工会、教育委員会、行政その他地域団体）を開催し、本フェスタ開催を契機として「地域コミュニティの再生」と「地域産業の連携促進と活性化」を目差す事業であります。2002年度は市街地域を目標としたツアーが生まれ、関連宿泊客で3000以上が確認されている。今年度も昨年同様の事業実施を目指し景観整備を図るものである。
活動の達成目標	本年度目標は観光客誘致50000人、地域製品の販路整備。
活動の特徴	事業自体が自治の精神を基本として、行政依存体質からの脱却と地域住民による自立を地域コミュニティの再生を基盤として、観光客を街区に誘導することによる「商店街の活性化（観光の主役）」及び「宿泊観光客の増」「ニセコの情報発信力の向上（観光メニューの増）」同時に地場産品企画商品化の実施により農産業との具体的連携も進める事を目的としている事。又行政とは違い単年度計画ではなく複数年目標により実施している事。
活動体制	対象参加者は地域住民と地域団体、及び全国の賛同者？

## 14. NPO 循環型社会立案サポートセンター

活動エリア	美瑛町を通る国道 237 号沿線及びその周辺
活動人数	活動者合計 [ 主要人数 20 人 スタッフ 50 人以上 ]
これまでの活動実績	<p>稚内市省エネシステム導入可能性調査委託事業</p> <p>事業家育成と人材育成プログラム開発に関する調査研究事業の検討委員</p> <p>小規模作業所「アトリエ・トムテ」支援事業</p> <p>「赤麦を守る会」支援事業 他</p>
沿道景観および地域資源の概要	<p>国道 237 号が美瑛町を走る長さは約 10Km 強と思われませんが、旭川方面からの平坦な道路から一転、丘の中を走る快適な高原ロードと変わり、観光客などにも人気の高いところです。 地域資源では景観を最大資源にしている町で、元来シーニック的な要素を持ち合わせているところです。</p>
活動内容	<p>身体障害者・高齢者に優しいユニバーサル景観モデル路線に！</p> <p>237 号沿線での色鮮やかな花々や匂いのある草木などの栽培。</p> <p>四季を通じて色鮮やかで香り豊かな様々な花々を栽培する。</p> <p>美瑛町の中心部に位置する、鉄西公園などでの花々の栽培支援。</p> <p>鉄西公園を利用して後述の色盲、全盲者などに対する情報発信基地に。 (身障者のためのインフォメーションセンター創設)</p> <p>赤麦に代表される美瑛の丘や離農畑の景観保全支援。</p> <p>美瑛町の元風景といわれる赤麦(タクネ小麦)栽培の支援など。</p> <p>沿線近郊の「パッチワークの丘」に代表される丘の景観の保全。</p> <p>離農畑の景観を守る為に緑肥用のカラシナやヒマワリなどの作付けを支援</p> <p>すべての人に配慮した 237 号情報の提供</p> <p>身体障害者を募り 237 号沿線のヒヤリング実施等</p> <p>誰もが楽しめるイベントの企画や会場づくりと運営</p> <p>身体障害者・高齢者がゆったりとくつろげる空間の提供</p>

<p>活動の達成目標</p>	<p>美瑛町の中心部に位置する、鉄西公園周辺での花々の栽培支援。並びに離農畑の景観を守る為に緑肥用のカラシナやヒマワリなどの作付けを支援、沿線近郊の「パッチワークの丘」に代表される丘の景観の保全。(鉄西周辺休耕地、及び緑肥支援約3町部。)</p> <p>美瑛町の元風景といわれる赤麦(タクネ小麦)栽培の支援など。(現在の作付け3反から5~6反程度へ造作予定。)</p> <p>各ニーズに即した情報、特に色盲、全盲者にもわかる観光マップ等の製作。(A-2版両面カラー直角四つ折り、10,000部。点字用冊子10~20部。)</p> <p>身障者を募り国道237号を實際回ってもらい、それらを通じての路作り、施設作りに対するヒアリング、リサーチ作業。(障害者50名、介助者50名、計50組で実施予定。)</p> <p>身障者によるアトリエ・トムテなどでの物づくり体験。(上記ヒアリング出席者を対象。)</p> <p>高齢者のカメラブームを利用し、237号沿線をテーマにしたフォトコンテストの実施。(前回実施要項に準じて行う・別紙詳細)来年実施に向けてのPR等。</p>
<p>活動の特徴</p>	<p>ユニバーサルな景観モデル路線ということで、一つのモノや発想にとらわれることなく、文字通りユニバーサルな視点に立っての路作りとなります。これらの考えは、あるモノを一方向からだけ見つめるのではなく、全く新しい視点、新しい角度から見つめ考えるもので、そこから生まれる発想は無限と思われれます。コスト等につきましては、従来行っている作業の発想転換で十分行えるものが多いですので、低コストにて成果も十分果たせるものと考えています。</p>
<p>活動体制</p>	<p>美瑛町内のボランティア団体などと活動。(虹の会、赤麦を守る会、こぼら会、身体障害者の父兄)</p>

## 15. 深山峠観光開発振興会

活動エリア	上富良野町 深山峠を中心とした里人地区
活動人数	活動者合計 { 44人 }
これまでの活動実績	・国道273号沿道の緑化運動(「花いっぱい運動」を実施中)今年で4年目 ・「豚肉の町」をピーアールする為、春と秋の年2回「とんとんまつり」を実施、次回で7回目 ・地域資源の保全・活用を目的とした「男爵芋畑一坪オーナー会」を実施中。
沿道景観および地域資源の概要	深山峠は十勝岳・大雪連峰を一望する最高の場所といわれています。その麗は、丘のPATCHワークの農作物で彩を添え、見る人が思わず感嘆の声を発しています。近年では、大型観光施設が進出したことで、安定的な収容力を持つ地域となりつつあり、全国のエージェントからは、富良野・美瑛の観光拠点としてご利用いただいています。また、寒暖の差が大きいため、ここで生産される農作物は味・品質とも安定しており、住民の8割は農家です。
活動内容	国道237号沿道環境整備「花いっぱい運動」を積極的に進めることにより、地域資源の保全と活用を実施できる地域社会作りを目指します。 「沿道環境整備から生まれる新しい地域社会の創造」 1. 深山峠「花道街道237」花いっぱい運動(別紙参照) 2. 「とんとんまつり」を通して、地元製品の販売をお手伝いしていきます。(別紙参照) 3. 「男爵芋畑一坪オーナー会」を実施(別紙参照) 4. 北の大地の自然環境保護及びカワシンジュガイの生息保護活動(別紙参照)
活動の達成目標	・「とんとんまつり」は、年2回の開催を続ける。 ・男爵芋畑一坪オーナー 30000を目標 ・国道237号沿道環境整備事業を「花いっぱい運動」として実施していくこと 2003年はルピナス苗3000株・桜の苗木20本の育成事業 2004年は上記の植栽事業を計画
活動の特徴	当会は歴史が長く20年余の活動実績があります。 一、里仁地区は深山峠を中心とした、峠特有の景観を持った地域です。 一、農村地区のため、農家8割・観光事業者2割、地域密着型の組織であること。 一、当会としてのブランド品を開発することで組織の一体化を計る。 一、活動を通して、地域社会の未来像を研究・実践中です。
活動体制	本会は会員相互の連携により、個人及び団体(上富良野町十勝岳観光協会・各経済機関及び文化団体・観光関係者)と密接な連絡を図り、深山峠の特質を生かし、特産物を考究し、地域経済の発展を目指します。

## 16. ニセコ観光国際部の会

活動エリア	ニセコアンヌプリを中心に半径20km内
活動人数	活動者合計 [ 25 名 ]
これまでの活動実績	8年間、年2回観光情報冊子（一部英語表記）発行 観光情報英文サイトの運営、英文での諸手続き代行
沿道景観および地域資源の概要	ニセコアンヌプリ・羊蹄山・尻別川等の雄大な自然、道道66号線の美術館、文学館からなるミュージアムロード、多数の温泉群、湧出する天然水、世界のお客様より絶賛をいただく雪質のニセコの山々。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光情報誌の海外の送付</li> <li>・ エリア飲食店等への英語メニュー作成願い及び協力</li> <li>・ 観光案内所へ当方の電話番号を通知し窓口における海外客の対応への協力</li> <li>・ 海外雑誌社等の取材協力</li> <li>・ 英語版ホームページによる観光情報発信</li> <li>・ 海外客への年間を通しての誘客活動</li> </ul>
活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界に通用するリゾートエリア・ニセコとなる事を目標とします。</li> <li>・ 情報誌発行1万部、1日のHPアクセス数1000件を目標とします。</li> </ul>
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冊子8年間継続発行によるエリア内での信用</li> <li>・ ニセコで検索した場合のトップヒット英語案内サイトです。</li> <li>・ 海外個人客との情報パイプラインを構築しています。</li> <li>・ 将来目標としてユニバーサルスタンダードな国際観光情報センター設立を目指します。（設立資金2,000万円）</li> <li>・ 海外からのお客様に対応できる人材育成</li> <li>・ ジャパニーズホスピタリティの再創造</li> </ul>
活動体制	ニセコ観光国際部の会に支えられ、冊子発行を行っております。また、有島記念館「土の香の会」・ニセコ・倶知安の各観光協会とも協力しております。

## 17. ゆったりリズム体験倶楽部

活動エリア	西胆振地区（洞爺湖を中心とする周辺市町村）
活動人数	活動者合計 19 人
これまでの活動実績	平成13年度、14年度にかけて、はまなす財団・北海道経済産業局と共同で西胆振地域振興計画策定調査を実施し、当該地域の隠れた魅力や名所を探る資源調査を行いました。
沿道景観および地域資源の概要	洞爺湖周辺地域は国立公園に指定されており、活火山、湖、川、海、山などの自然環境に恵まれています。このような地域資源＝自然環境を積極的に活かした「遊ぶ」「学ぶ」「癒す」さらに「交流」を促進するといった様々な新しいスタイルの体験観光を楽しむことのできる地域です。
活動内容	<p>観光客のニーズは、従来型の団体旅行中心から個人重視型観光へとシフトしてきています。上記のように洞爺湖周辺地域には素晴らしい景観のみならず、こだわりの食材が豊富にあるし、様々な体験観光メニューが用意されているにもかかわらず、情報発信やサービスの提供といった側面から見ますと、未だ満足できるものではありません。従って、今後は札幌国際大学を連携して、マーケティングの視点にたった活動を展開する予定です。</p> <p>平成15年度の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要沿道及びその周辺地域の隠れ名所等の探索と環境整備の必要な地域、ポイントなど調査研究活動とデータベース化</li> <li>・ 体験観光メニューの開発・提供</li> <li>・ 環境保全活動（ゴミ拾い運動）と啓蒙</li> </ul> <p>平成16年度の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要沿道及びその周辺地域の隠れ名所等の探索調査とデータベース化の継続</li> <li>・ 上記調査研究及びデータベースに基づいた新たなスタイルの体験観光メニュー＆コースの開発と各ビューポイントの環境整備活動の実施 環境保全のためのゴミ持ち帰り運動との抱き合わせ体験観光</li> <li>・ 新たな情報発信装置としてのホームページ制作とガイドブックの作成 札幌国際大学生によるHP開発とHPの管理・運用 ガイドの要らない有料の自然観察型沿道景観と見どころマップ（＝地元住民との交流促進につながるガイドブック）/花いっぱい運動と連携させて花の種をセットすることで有料化</li> </ul>

活動の達成目標	<p>西胆振地区で体験観光をしてみたい人の比率は 40%を越えているが、実際に体験観光を行っている人の比率は 3%程度と低く、当該地域の体験観光はまだ充分には根付いていない。西胆振地区体験観光を行う人を当面の目標として、10%程度に引き上げる。</p> <p>西胆振地区体験観光が定着していない主な要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客に情報が十分伝わっていない。(体験観光の情報不足)</li> <li>・ 各体験観光を個々に体験する際の「料金が高い」イメージが強い</li> </ul>
活動の特徴	<p>沿道及びその周辺地域の隠れ名所等の探索と環境整備の必要な地域、ビューポイントの調査研究とデータベース化</p> <p>上記調査研究及びデータベースに基づいた新たなスタイルの体験観光メニュー &amp; コースの開発</p> <p>各ビューポイントの環境整備活動の実施</p> <p>旅行者への環境保全活動(ゴミ拾い)の啓蒙の実施</p> <p>新たな情報発信装置としてのホームページ制作とガイドブックの作成</p>
活動体制	<p>札幌国際大学学生グループと連携した活動及び同地区で活動する NPO 法人・洞爺にぎわいネットワーク、レイクトピア21エコ部会などとの連携を図り活動していきたい。</p>

## 18. 上富良野町商工会商業部会

活動エリア	吹上上富良野線金星橋～上富良野旭中富良野線上中交差点間 上富良野停車場線JR駅前～農協事務所交差点まで(1,800m)
活動人数	活動者合計 [ 100 ]人
これまでの活動実績	おもてなしの心と花人街道にふさわしい道づくりを実践しようと、商店街全体を統一花で飾るようになって4年目、道行く人々の目を楽しませています。又、観光の街にふさわしいフラッグの他冬期間は、樅の木のイメージで統一したイルミネーションで彩りを添えています。
沿道景観および地域資源の概要	十勝岳連峰やなだらかな丘陵に囲まれ、良好な景観に恵まれた自然豊かな地域です。自然との調和や共生という観点から景観形成を意識し、道路利用者にとって「わかりやすく」「しんせつ」で「あたたかな気持ちを通じ合う」みちづくりを目指し目的に添った整備を進めています。
活動内容	近年大型小売店の進出や既存商店の商業活動の低迷により、過去には賑わいを見せた中心市街地も衰退してきている状況です。沿道商業者が中心となり、通りを彩る「花の取組み」により、沿道全体が大きくなっています。「まちの中心(顔づくり)」「中心市街地再生」の気運の高まりから、広い範囲の住民によって将来に向けた整備構想の策定作業が住民主体で行われています。ハード面の整備にとどまらず、空き店舗や空き地の利活用、街なかで行われる様々なイベントの検討など、ソフト機能の重要性についても認識し「おもてなし」の観点から人と人がふれあうあたたかな気持ちを通い合う、まちの中心づくりに向けて構想策定作業が進んでいます。 商店街の活性化を促進するため小売業、飲食業、サービス業の事業者店舗の新築等を行う場合、商店街で行うことにより、商業振興を図る個店の魅力を高める営業施設の増改築、商店街の環境整備など共同で行う自主的努力に対して、町からも支援されています。
活動の達成目標	吹上上富良野線金星橋～上富良野旭中富良野線上中交差点 上富良野停車場線JR駅前～農協事務所交差点まで(1,800m)
活動の特徴	当会は地域の「総合経済団体」中小企業の「指導団体」として、豊かな地域づくりと商工業の振興のために様々な地域振興事業に取り組んでいます。地域の特産品開発、観光事業の活性化、他の地域との交流事業、効果的なイベントの開催などを通じて地域の活性化に努力しています。
活動体制	沿道商業者が中心となり、通りを彩る「花の取組み」が4年前よりはじまり、さらに一般町民の中でも生活環境の改善と良好な街並み形成のための「花の取組み」がなされており、町も活動に対して支援していただいています。

## 19. そうべつくだもの村

活動エリア	国道 453 号線を中心とする支笏湖から洞爺湖を中心とするエリア
活動人数	活動者合計 [ 21 ] 人
これまでの活動実績	4 5 3 (ヨゴサン) キャンペーン 国道昇格記念 人間ばんば大会 花壇植栽運動
沿道景観および地域資源の概要	洞爺湖・昭和新山・有珠山・西山火口等景観地が多い お不動山梅公園などのビューポイントあり 四季を通じたくだもの生産により、多くの観光客が訪れる
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいくだもの生産</li> <li>・修学旅行・団体客等の共同受入</li> <li>・修学旅行・団体客等の体験学習受入</li> <li>・地域の環境整備、P R</li> <li>・各種イベントの開催</li> <li>・販売ルートの開拓</li> </ul>
活動の達成目標	
活動の特徴	景観を見ていただき、目を楽しませ、おいしいくだものを食べていただき口を喜ばせ、お客さんを受け入れるために環境整備を行いたい。
活動体制	4 5 3 キャンペーン等は、国道 4 5 3 号に接する各団体の皆さんと連携して進めていきたい。

## 20. グリーンステージNPO法人設立準備室

活動エリア	大雪山十勝連峰南側
活動人数	活動者合計 [ 約10人 (事業に合わせ緊急雇用なども予定) ]
これまでの活動実績	<p>グリーンステージは大雪山連峰南側の広域でエコツーリズムを実践する為に組織された団体です。現在 NPO 法人取得に向けて手続きをすすめています。立ち上がりのメンバーとしては、美瑛町～占冠村にいたる「アウトドア関係者」、「観光関係者」、「山岳会長、会員」、「農家」、「自然活動研究者」、「まちづくりメンバー」等が理事となる予定です。今後、林業家、市民団体など数多くの方に幅広く参加を呼びかけていく予定です。</p>
沿道景観および地域資源の概要	<p>大雪山連峰南側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美瑛町 ...白金温泉。丘陵地帯に広がる農耕地がヨーロッパの景観を彷彿させる。白金地帯は動植物の宝庫</li> <li>・上富良野町...日本で一番高いところにある温泉「十勝岳温泉」は日本屈指の秘湯ともいわれる。また富良野岳登山の入り口でもある。十勝岳連峰の麓にはラベンダー畑が広がる。</li> <li>・中富良野町...ラベンダー観光発祥の地であり、農道景観ものどかな町</li> <li>・富良野市 ...盆地であるため季節及び一日の気温格差が大きい。市の7割が針葉樹と広葉樹の混ざり合った森に囲まれ、多くの動植物に恵まれている他自然観察ポイントには事欠かない。加えて、22年間続いた国民的テレビドラマ「北の国から」の舞台となった場所で「日本一有名な田舎」の一つと言える。</li> <li>・南富良野町...人造湖「金山湖」は、夏はカヌー、冬は氷上ワカサギ釣りなど季節を通じて遊ぶことができます。また、ラフティング、ダッキーなどウォータースポーツのメッカでもあります。</li> </ul>

活動内容	<p>1. コミュニケーションロード事業</p> <p>[目的] 対話ができるロードづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国道、道道、市道、町道、村道、農道、私道、作業道、遊歩道、登山道、畦道、境界道、けもの道、村道といった道路」には、それぞれの物語があります。例えば、その道のなりたち、アイヌ語の名前、そこから眺める四季の景観、その近辺のエコロジーな話、農家の作物の話、どんな人が利用する道か・・・など、四季折々の目的に合わせ、道の情報が体験できる・・・訪れた人とロードとのコミュニケーションを図れる方法を模索する事業を目指します。</li> </ul> <p>(活動段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・各道路の調査・研究・情報集約</li> <li>・中期・・・各道路の拠点・インタープリターの発掘作業とMAPづくり</li> <li>・長期・・・各所への掲示板や情報誌などの発行。永続的にできるシステムづくり</li> </ul> <p>2. ロード・ツーリズム事業</p> <p>[目的] 体験できるロードづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットパス・サイクリング・ウォーキング・歩くスキー...車から降りた後も季節別、目的別にアクティビティを楽しめるロードの発掘事業</li> </ul> <p>(活動段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・体験別の楽しめる道路調査</li> <li>・中期・・・実際に体験するための整備事業と情報づくり</li> <li>・長期・・・永続的にできるシステム</li> </ul> <p>3. オーダー・メイド ロードツアー事業</p> <p>[目的] 体験型ツアー・エコツアーなどこのコリドーならではの又、道路との接点がある体験型メニューの開発</p> <p>(活動段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・この沿線で実施されている体験型観光ポイントの整理と情報化</li> <li>・中期・・・沿線を縦断できる体験メニューの組み合わせや新規メニューの開発</li> <li>・長期・・・実行体制や組織づくりと実施</li> </ul> <p>4. ロードイベント事業</p> <p>[目的] シーニックバイウェイのPRイベント。例えばカーナビを利用したロードオリエンテーリングやロード・ツーリズム事業で設定したロードの大会など、シーニックバイウェイの知名度を上げる為のイベントを毎年行う。</p> <p>(活動段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・・・イベントの企画調整・実行委員会の立ち上げ・試験的イベントの実施</li> <li>・中期・・・いくつかのイベントを実施。各イベントの検証</li> <li>・長期・・・定期イベントとしての絞込みと永続的な実施にむけての組織化</li> </ul>
------	--

<p>活動の達成目標</p>	<p>平成 16 年 3 月末予定</p> <p>コミュニケーションロード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美瑛町白金地区の遊歩道再調査のデータ化</li> <li>・富良野市エリア(主に麓郷及び下金山湖近辺)の農道の近辺調査)</li> </ul> <p>ロード・ツーリズム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 237 のサイクリングロードのデータ化(サイクリングに必要な拠点や実施のおけるポイントの整理)</li> <li>・歩くスキーロードの調査とデータのまとめ(美瑛地区と富良野地区のモデル 2 コース)</li> </ul> <p>オーダー・メイド ロードツアー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規体験型ツアー・エコツアーの提案</li> </ul> <p>ロードイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの実行委員会の立ち上げ</li> </ul>
<p>活動の特徴</p>	<p>すべてがエコツーリズムと連関するもので、グリーンステージ本来の仕事として継続する事が可能です。</p> <p>内容</p> <p>「NPO 法人 グリーンステージ 設立準備室」は地域の、アウトドア・農業・研究者・など各事業に精通している人材を中心に設立 (NPO 法人申請中手続き中) されています。</p> <p>構成員及び事務局は、(社)ふらの観光協会による、「観光クラスタープロジェクト」を主宰し、参画した人材により組織されているため、異業種間の人材をコーディネートした経験があります。その流れから NPO 設立へ向けて動き出しました。</p> <p>具体的には、地域の潜在力を見直し、調査・研究し、具体的な事業に結びつけながら、永続的な経済基盤を図るという「エコミュージアム」の考え方をベースにエコツーリズムを実践しようとしています。</p> <p>シーニックバイウェイへの参加は、試験的行動であり、ボランティア参加をよびかける為にコストは安価に行えると思います。</p> <p>また、試験的行動により可能性を確かめ、地域のノウハウを生かし、以後の事業に早急な対応が可能です。</p>

活動体制	<p>NPO法人として組織化する。</p> <p>活動体制は何故 NPO 法人か・・・</p> <p>エコツーリズムの定義の一つに、「地域文化の啓発を図るための行動」というものがあります。</p> <p>そのためには、地域の生活者が企画・立案・実施の主体者ならなくてはなりません。</p> <p>その行動結果により、各分野で経済的効果（アウトドアやインタプリターなどは、業として実施することにより質が高まる）をもたらす事へ繋げることを目指します。</p> <p>当組織は、これから NPO 法人としての認可をとり、本格的な組織化を図る団体です。現段階では、業として現場のスキルを持っている方々をご参加されていますが、企画、演出、情報発信力、統一力が欠落しているため、市民（異業種間の）でのプロジェクトでコンセプトを話し合い、行動の実施を各関係業団体で受けるような流れにしていきます。</p> <p>（そのためにも、団体運営と、人材確保に向け、公的ご指導を頂ければ《冬季間の適正人的能力が生かせる仕事の提供など》と思います。）</p>
------	--

## 2.1. 特定非営利活動法人 洞爺にぎわいネットワーク

活動エリア	国道230・453号(大滝、壮瞥、虻田町、洞爺村) 道々洞爺湖登別線、道々月浦公園線、虻田町洞爺湖温泉内町道
活動人数	活動者合計 [ 27 ]人
これまでの活動実績	にぎわいショップの開設・にぎわい茶屋・シャッターアート(空き店舗の活用とにぎわい空間の創出) 花いっぱい運動 各種団体との意見交換 など
沿道景観および地域資源の概要	洞爺湖～洞爺湖温泉のシンボリック的存在。 有珠山～平成12年に噴火した後、現在では散策路が整備され、噴火口が間近で見ることができる。現在も噴煙があがっており、火山のある風景は洞爺湖と並び同エリアのシンボリックな存在となっている。 洞爺湖～ぐるっと彫刻公園～虻田・壮瞥・洞爺にまたがる洞爺湖をぐるっと取りまく野外彫刻公園。延長43kmに58基が設置されており、著名な作家の彫刻も多く存在する。 見晴し台～洞爺湖を一望できる展望場所。洞爺湖の夜景や花火が一望できる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿道の植栽、花いっぱいロードの作り 現在、町道停車場通り線の桜並木復活のために今年度は約30本の八重桜の苗木を植樹し、今後も他路線でも植樹を行い観光客と地域住民に喜ばれる活動を行う。 道々洞爺湖登別線洞爺湖温泉街において花壇を水銀灯支柱に取り付け景観向上活動を実施。</li> <li>・ 隠れ名所・達人バンク発掘など地域の資源調査 洞爺湖エリアには地元しか知らない隠れた資源(名所名跡名店など)が多々あり、交流人口の増加推進、穴場再発見と題し、隠れた物・人について再確認し、地域の資源として発信する。</li> <li>・ 情報の発信・パンフレットの作成 地域の資源の調査に基づき、パンフレットを作成するなどして情報を発信します。</li> <li>・ 新たな体験観光の発掘 火山ある風景を題材としたフォトポイント発掘事業。</li> </ul>
活動の達成目標	町道停車場通り線沿道の桜植栽範囲を現在800mのところ、見晴らし通り線、四十三山線なども植栽を行い桜並木で埋め尽くされるようにしていきたい。
活動の特徴	洞爺にぎわいネットワークは、洞爺湖温泉街をにぎわいのある街に！を目標に活動している。まちづくりの視点から、洞爺湖温泉全体のにぎわいを創出するため環境整備を図っていきたい。
活動体制	観光客・地域住民にも呼びかけ、火山市民ネット、行政など関係団体との連携を図って実施したい。

## 2.2 .(社)かみふらの十勝岳観光協会

活動エリア	上富良野町全域
活動人数	活動者合計 [ 14人 ]
これまでの活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラベンダーオーナー圏の設置</li> <li>・各種イベントの実施</li> <li>・観光八景、五大名所の設置</li> <li>・その他地域観光資源の開発</li> <li>・観光案内ボランティア活動組織の設置</li> <li>・ホスピタリティ講習会等の開催</li> </ul>
沿道景観および地域資源の概要	<p>国道237号花人街道に面して上富良野には、起伏に富んだ色とりどりの丘陵地帯をはじめ、荒々しい十勝岳連峰など、ヨーロッパを彷彿させる艶やかな景色、ラベンダーで紫色に染まった丘・秘湯十勝岳温泉郷などがあり、又、日本画家後藤純男美術館、トリックアート美術館、写真ギャラリー等の施設も充実し、観光客に喜んで頂いております。</p>
活動内容	<p>かみふらの観光八景と五大名所の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光八景、五大名所への誘導看板の設置</li> <li>・観光八景へのトイレ・見晴台の整備</li> <li>ウォーキングコース環境整備</li> <li>・コース内に数カ所のトイレ設置</li> <li>・コースの誘導看板の設置</li> </ul> <p>*具体的に関係機関等検討協議していきたい。</p>
活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光八景、五大名所の環境整備への調査（H15年度）</li> <li>・ウォーキングコースの環境整備への調査（H15年度）</li> </ul>
活動の特徴	<p>観光協会理事者によるプロジェクトチームの結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統一看板の作成（景観を害しないもの）</li> <li>・設置場所の決定（景観を考慮して）</li> </ul>
活動体制	町役場・土地所有者等関係機関との連携

## 2.3.(有)フラワールンドかみふらの

活動エリア	上富良野町全域
活動人数	活動者合計 [ メロン生産者38戸 ]
これまでの活動実績	富良野メロンの銘柄を、道外旅行者に当社から発信し、富良野農産物等の評価を高める活動をしております。当社も農業法人として農作物の価格維持に努め、農業所得向上の活動を積極的に活動しています。
沿道景観および地域資源の概要	国道273号線花人街道として、景観は一次産業が最も重要であり、一次産業の活力なくして素晴らしい景観は不可能と考えます。上富良野町の資源として農業物がありますが、北海道の内陸に位置し寒暖の差が厳しく、農作物は当然甘みがあり全国的に高い評価を受けております。一次産業の農業と観光は切り離すことはできず、当社も農業観光農園として今後も地域資源を活用した展開を進めていく所存でございます。
活動内容	<p>テーマ：国道237号沿道景観の付加価値を高めるための地域活動</p> <p>活動内容</p> <p>農村景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（農産物等）の魅力度調査</li> <li>・地域の農村景観の現況整理（地域の農村景観を考える）</li> </ul> <p>立ち寄りポイントの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型複合施設（観光施設と加工施設等）の需要等の調査</li> <li>・体験型複合施設（観光施設と加工施設等）の検討</li> </ul> <p>産直イベントの企画運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（農産物等）の産直及び商品化にあたっての需要等の調査</li> </ul> <p>地域資源（農産物等）の啓蒙活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客（年間36万人の来場者）に対しての地域資源（農産物等）の啓蒙活動</li> </ul>
活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・237号美瑛～フラワールンドまでの2～3km及びフラワールンドを中心とした周辺約50haの農村景観の現況整理を行う。</li> <li>・体験型複合施設（観光施設と加工施設等）の建設に向けた留意事項を整理する。</li> </ul>
活動の特徴	<p>上記実施にあたり、現在富良野農産物を販売しておりますが、消費者は顔の見える安全な商品を望んでおり、目に見える加工商品をその場で販売することで、北海道お土産品として、村おこしに大きく貢献できると判断いたします。現在本州産のメロンの漬物を販売しておりますが、人気がよく、当社といたしましては心苦しく販売している現状であり、一日も早く実現に向けて邁進したい。</p> <p>観光客の望むものは、地場産品であり、夕張メロンをしのぐ評価を受ける今日富良野メロンを多目的に活用し、活動いたしたいと考えます。</p>
活動体制	当社、メロン生産者、農協、町が一体となって活動致したい。

## 24. 川を語る会（京極町）

活動エリア	京極町中心部を流れている川の空間構想
活動人数	活動者合計 [ 40 名 ]
これまでの活動実績	河川の草刈清掃 河川空間のワークショップ
沿道景観および地域資源の概要	京極橋（国道橋）から見える羊蹄山 市街地を流れる河川 （ワッカトサップ川、オロッコ川、噴出しの沢川） ふきだし公園 双葉ダムおよび尻別川
活動内容	京極町市街地を流れるワッカトサップ川、オロッコ川、ふきだし公園（ふきだし湧水）から流れる噴出しの沢川などについて、ワークショップなどを開催して河川空間の構想を策定する。 川と市街地の景観をテーマにタウンウォッチングを開催する。 国道から目に付く河川空間を中心に清掃や草刈などを行う。 噴出しの沢川の散策路沿いの清掃と草刈を実施した。 市街地の景観を高める議論をワークショップなどで行う。
活動の達成目標	今年度は、川をメインテーマに市街地の景観を高めるように活動を行い、河川空間の構想を策定したい。 20名程度で清掃と草刈を行いたい。 来年度は、国道を中心とした市街地の景観を検討し、景観を高める活動を行えるように、議論を行う。
活動の特徴	清掃や草刈などできることから、メンバーで実施する。 川を考えることで国道を含めた市街地全体の景観形成につながるように継続的に活動を行う。
活動体制	町民の協力によって組織を運営している

## 25. NPO法人 しりべつリバーネット

活動エリア	国道 276 号喜茂別町から国道 5 号蘭越町まで尻別川流域区間
活動人数	活動者合計 [ 260 ] 人
これまでの活動実績	せせらぎまつり、自然保護、維持、再生事業と上流文化圏会議ほか各種流域自然・文化・経済に関わるシンポジウム、会議など流域地域の各種提言活動
沿道景観および地域資源の概要	国道 276 号線と国道 5 号線と並行して流れる尻別川流域景観と、沿道景観として 360 度周囲から見える羊蹄山、ニセコ山系の自然景観及び農村景観と喜茂別町からニセコ、蘭越に及ぶ農村部集落文化及び各町村によって設置・運営されている記念館及び美術館など
活動内容	国道 276 号線と国道 5 号線と並行して流れる、尻別川流域景観（自然）と文化の保全、維持、復元活動を関連行政（国土交通省、北海道、流域市町村）と協同で実施している。また、流域内の各種団体（つりの会、自然保護団体、その他市民団体）と連携して流域文化の調査研究活動も実施している。関連項目についてはホームページに掲載。 <a href="http://www.river-net.gr.jp">http://www.river-net.gr.jp</a> 今回の参加申請については流域文化と自然（道路空間からの景観を中心にしたもの）の維持、復元、広報活動です。
活動の達成目標	流域の自然環境の維持と保全、及び復元活動に併せて啓蒙普及活動と幅が広く一概に達成目標は言えないが、生活文化と自然との調和が目標
活動の特徴	しりべつリバーネットは市町村の行政エリアだけでは解決できない広域の諸問題について「しりべつ川流域」を 1 つの単位と考え、民設民営形態で企業や行政から自主自立で運営し、住民や企業、行政からのよりよい流域社会創造のための窓口役を担うことを目的に設立されました。 活動は、流域連携及び流域自治に関する政策提言や調査研究などの様々な活動、生活者の視点による適正な河川利用方策の構築や他の NPO 団体との情報交換、環境保全活動などを行います。これらの活動により、流域住民や尻別川流域に思いを寄せる人々による、流域自治を実施する団体として設立します。
活動体制	ホームページを参照

## 26. きもべつ WAO

活動エリア	国道 276 号、230 号、喜茂別町内沿線
活動人数	活動者合計 人
これまでの活動実績	R276 双葉・鈴川地区のフラワーストリートの整備
沿道景観および地域資源の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニセコ、羊蹄地区のゲートウェイの地区である</li> <li>・ 双葉地区は双子の羊蹄（ツインピークス）を美しく見られ、フラワーストリートと重なり足を止めたくところである。</li> <li>・ 沿道には無農薬認定農場が点在するのでここでの体験農場を企画したい。</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R276、230 の交差する場所を情報発信基地として整備し、なまの観光情報をインターネット・携帯電話等で発信し、季節のマップをつくる。これらを発展させ、会の活動資金をつくる。</li> <li>・ フラワーストリートの整備を地域と連携して行う。</li> <li>・ ツインピークスのビューポイントを決めて駐車場を整備する。フォトコンテストの実施。</li> <li>・ 地域の農産物の体験・販売の手助けをする。（インターネットの活用）</li> </ul>
活動の達成目標	
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信基地はゲートウェイの町としての役割を果たし 1 町村 1 雇用を目指す。</li> <li>・ フラワーストリート、ビューポイント等の整備には、ボランティアサポートプログラムを活用する。</li> <li>・ ホワイトアスパラの時期、6 月のうちの 1 週間をフェスティバルとして企画・運営にあたる</li> </ul>
活動体制	<pre> graph TD     A[きもべつWAO] &lt;--&gt; B[WAO]     A --- C[地域住民]     A --- D[観光協会・商工会]     A --- E[各団体]     A --- F[行政]     </pre>

## 27. かなやま湖の森 2212

活動エリア	国道 237・38 号富良野市山部～237 号南富良野町金山峠、38 号南富良野町狩勝峠
活動人数	活動者合計 [ 10人 ]
これまでの活動実績	平成14年10月10日 設立総会 平成14年10月 南富良野町かなやま湖 紅葉をカヌーの上から眺める会。 平成14年10月 南富良野町落合 どんぐり(ミズナラ)を拾い植える会。 平成14年11月 落合小中学校3・4年学級 自然観察会・冬に備える。 平成15年5月 かなやま湖北岸 ゼロの山登山道下見
沿道景観および地域資源の概要	丘陵と盆地を走り抜けてきた国道 237・38 号は富良野市山部を過ぎると、東京大学演習林に入り、更に南富良野町の空知川沿いの農地と森林地帯の狭間を抜け、金山峠・狩勝峠に辿り着く。2本の国道の間にはカヌー体験やキャンプ場として名高いかなやま湖が横たわる。沿道では野生動物の目撃が多く、時として接触事故も発生している。また林地では植林が遅れ、はげ山のなっている場所も見受けられる。
活動内容	下記の活動により対象地域の自然及び景観の保全・再生と一般市民・観光客の参加・利用の促進を計る。 国道沿いのはげ山への一般市民・観光客参加による体験観光型の植林事業。 野生動物の出現情報をタイムリーにかつ視覚的に訴える看板による啓発により、野生動物への注意を喚起し、かつ事故等の原因となるゴミ・空き缶のポイ捨てを抑止する活動。 国道 38 号沿いの田園パッチワーク景観、及びかなやま湖、夕張岳、芦別岳が見渡せる絶景ポイント「ゼロの山」へのかなやま湖畔キャンプ場からの登山道開削活動。
活動の達成目標	一般市民・観光客参加による体験観光型の植林事業のモニター実施(2回)。 野生動物出現調査・ゴミ調査および啓発看板設置(2箇所)設置事後調査。 「ゼロの山」登山道ルート予備調査・頂上部分 100mのルート開削
活動の特徴	一般市民・観光客参加による体験観光型の有料の植林体験事業は他に例が無い。今後通年化や体験メニューの増加を計る。参加者の活動実績はデジカメで記録し保存、リピート参加を促す。 現在の「ゴミ捨て禁止」や「クマ出没中」の看板に替え、ソフトなイメージでポイ捨て防止と野生動物との接触事故防止を啓発する活動は他に例が無い。 国道を取り巻く美しい景観を、俯瞰で見られる場所が他には無い。
活動体制	・南富良野町林業振興室・商工観光課 ・農政課金山ダム水源地ビジョン推進連絡協議会南富良野町環境 ・林業観光研究会

## 28. 富良野エコミュージアム

活動エリア	富良野を中心として、美瑛から占冠のエリア
活動人数	活動者合計 10 人
これまでの活動実績	<p>主な活動として</p> <p>(1) インターネットによる情報発信事業</p> <p>(2) 特産品ブランド「ふらの市(いち)」確立に向けたロゴ・キャラクターの制作、試験的商品の開発、検討</p> <p>(3) 全市的な視野に立った各種後援会・勉強会</p> <p>(4) 地域活性化に向けたイベント企画</p> <p>(5) 岐阜県立森林文化アカデミー教授の前田博先生、高田研先生指導による「富良野型エコミュージアム構想」の実現に向けてのワークショップの実施などを行ってきました。</p> <p>* 上記はあくまで、現在の組織「富良野エコミュージアム」での活動ではなく、「ふらの観光クラスタープロジェクト」(ふらの観光協会主宰)の活動です。このプロジェクトの主要メンバーが中心となって、民間の団体として今後活動していきます。</p>
沿道景観および地域資源の概要	<p>・三笠・滝川方面から車で富良野に入ると、広々とした大地と山、川、そして空が目飛び込んでくる。国道38号から市街地を抜け、右手に芦別岳を見ながら国道237号線を走ると、道の両側にうっそうとした原生樹木(東大樹木園)が現れる。東山の市街地を抜けるとまさにこれぞ北海道という雄大な道が西達布、そして南富良野・占冠と続く。このルートは四季折々の変化を感じさせる景観で、富良野から美瑛までの景観は言うまでもなく、花と丘、十勝岳連峰が素晴らしい。</p> <p>・地域資源は、これらの美しい、北海道らしい自然景観とテレビドラマ「北の国から」のロケ地とその精神、東大演習林、北海へそ祭り、富良野スキー場、富良野演劇工場、ふらのワイン工場、ふらのチーズ工房、鳥沼公園など、そして玉ねぎ、ジャガイモ、人参、メロン、スイカ、アスパラ、イチゴなど豊富な農作物。</p>

活動内容	<p>私たちは3年間に渡って「富良野型エコミュージアム」の研究と調査をしてきた団体です。そこで培ったまちづくり・地域おこしの「精神」に則り、シーニックバイウェイ制度のプログラムを展開したいと考えています。まず、1年目はシーニックバイウェイのメインテーマである「道」を中心にして、どんなまちづくりができるのかを研究・調査する事業を進めたいと思います。今の時点で考えていることは、富良野周辺でも特に美しい道路からの景観を写真やビデオ、コメント、マップなどで紹介するポイントを設定し、ポイントに接する道路や看板の整備や改善の提案。また、何気なく見過ごされている道路に新たな視点・発想を付け加え、地域環境に密着した「カラマツ街道」「雪道街道」等の名前の考案やルートづくりの提案。そして、中心市街地活性化事業に連動した、街中の道路整備と美化の推進の提案などです。</p> <p>また、ホームページ、コミュニティFM、映像、フリーペーパーなどのメディアを使って、例えば、観光シーズンの道路渋滞情報、観光道路ルート情報などシーニックバイウェイに関する富良野発の情報発信事業の可能性なども研究・調査したいと思います。</p>
活動の達成目標	<p>とにかく1年目は左記をたたきだいにして、メンバーとの会議、講師の招聘などを通じて、2年目以降は本格的事業実施のための調査・研究に力を入れたいと思います。</p>
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目の実績として、調査・研究の報告書、それと調査・研究の成果をホームページ等のメディアで、富良野発の情報として発信、そして来年以降の本格的事業実施に向けて写真、ビデオ、CD-ROMなどのビジュアルでのプレゼン的な成果品を製作を考えたいと思います。</li> <li>・「富良野エコミュージアム」としての特徴は、シーニックバイウェイの目指している地域資源活用型のまちづくりを前田博先生の指導のもと3年間活動してきた団体ということです。メンバーも、官民一体となった異業種の市民の集まりで、これからはシーニックバイウェイが目指している、地域の市民が参加して新しいコンセプトで町、道、国をつくるのに一致しています。</li> </ul>
活動体制	<p>佐々木代表を中心に、シーニックバイウェイをより多くの市民に理解してもらい、メンバーを増やし、将来的にはNPO設立を視野に入れて活動したいと思ってます。</p>

## 29. 花人街道観光対策連絡協議会

活動エリア	美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村
活動人数	6市町村・7団体(商工会)・6団体(観光協会) 人
これまでの活動実績	<p>国道237号旭川市から占冠村に至る地域の景観形成を推進するため、道路案内や地域のイメージアップを図るための標識のあり方を検討し補助サインを設置するほか拠点地域では駐車公園や駐車帯を整備し地域の生活・流通路の確保と渋滞緩和を図る一方、景観・環境保全に向けた景観条例の制定など国・北海道・関係市町村による花人街道景観形成推進協議会で取り組みました。</p> <p>また、国道237号美瑛町から占冠村に至る商工会が中心となり、関係市町村長同席のもと、花人街道夢物語を提唱し個々の市町村が個性を持って事業創造することを基本に、次代を見通した産業連携による地域活性化など、世界に発信できる観光産業の広域展開を検討し、現在推進母体など組織づくりに取り組んでおります。</p> <p>地域における観光資源を生かした観光産業の推進に向け、効率・効果的な施策として「富良野美瑛広域観光推進協議会」を平成6年に設立し、通年化・滞在化に重点をおいた事業展開を実践しております。</p>
沿道景観および地域資源の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大雪山国立公園(十勝岳連峰)</li> <li>2. 温泉・リゾート地</li> <li>3. 湖(かなやま湖・しろがねダム)</li> <li>4. ラベンダー・花畑</li> <li>5. 田園風景・町並み景観</li> </ol>

活動内容	<p>既に取り組んでいる事業の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域を中心とする国道・道々・町道の清掃活動（商工会・観光協会）</li> <li>・生活道路を中心とする清掃活動（自治会・町内会）</li> <li>・幹線道路沿線の景観形成活動（植栽、花、木）</li> <li>・道の駅など交流施設での地場産業との連携（農産物・土産品の直売）</li> <li>・地域の周遊性を高める広域観光イベント（各種スタンプラリー）</li> <li>・閑散期対策としての広域観光キャンペーン</li> </ul> <p>新たに取り組む事業</p> <p>（地域発信事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源や景観を生かしたフィルムコミッション等の誘致、支援</li> </ul> <p>（文化・ブランドの形成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の文化（ブランド化）を高める運動・花人街道における「田園理想郷」の試行</li> </ul> <p>（統一した景観保全）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花人街道における景観保全、環境保全に向けた取り組み</li> <li>・花人街道沿線の町並み景観の整備など美しいまちづくり</li> </ul> <p>（交流機会の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングコース、サイクリングコースの点検整備</li> <li>・交流施設における雇用の創出</li> <li>・道の駅、鉄道の駅が連携する交流空間づくり</li> </ul>
活動の達成目標	<p>モデル期間に6市町村が連携しながら組織づくりを確立し、構成市町村は広域目標に基づき具体の実践につとめる。</p> <p>初期（3～5年）で、地域発信事業、文化・ブランド形成を高める運動着手</p> <p>中期（6～8年）で、交流機会の推進のため各施設の点検整備まとめ</p> <p>後期（9～10年）で、統一した景観保全内容が確立する</p>

<p>活動の特徴</p>	<p>協議会が中心となり、地域住民はもとより道内、道外で支援いただける方々を対象とした事業を推進し、各地に地域住民や地域ボランティア等の参加を呼びかけ組織化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストについては、住民参加の事業を中心に取り組み、課題と方策または実践における指導などでは講師の招聘を予定。なお、継続的な活動における原材料の調達については、地場産が可能な体制づくり（例：花木）を検討します。</li> <li>・成果は、地場産業の生産と販売など商業化に向けた展開と新たな雇用機会の創出  景観の保全と美しいまちづくりの実践と中心市街地活性化を推進  環境保全への数値目標としてゴミの定量化としてゴミ収集量の減少  観光産業の通年化・滞在化への数値目標として観光入込み数の増加</li> </ul>
<p>活動体制</p>	<p>現在は、商工会の広域組織が主体となって各地域の住民を含めた体制づくりを進める。事業の展開など地域づくりについて、国・北海道・美瑛町とも連携を図り、シニッパ`イウェイ制度ノモデル完成に積極的に傘下します。また、各市町村ふるさと会（例：東京 会）やインターネットで国内に向け広く理解者、支援者を募集します。</p>

### 30. 社団法人 千歳青年会議所

活動エリア	新千歳空港周辺～千歳市街～支笏湖に至る道道16号線
活動人数	活動者合計 [ 登録人数 50 ] 人
これまでの活動実績	ジャンボ絵画・千歳川清掃・千歳支笏湖間ごみ拾い・千歳物語など
沿道景観および地域資源の概要	空の玄関口（新千歳空港）と豊かな自然環境（支笏湖） < 国道36号線～道道16号線 >
活動内容	空港利用者（来訪者）に対する景観整備及びそれに伴う地域性の認識とホスピタリティーの育成。国道36号線JR南千歳駅付近を千歳及び北海道のゲートウェイとして捉え来訪者に対して良い心象を抱かせる景観づくり。 プランター花植え事業 外国人対応のサイン設置及びマップ作成 北海道情報発信サービスの構築
活動の達成目標	
活動の特徴	
活動体制	

### 31. 有限会社 インターネット富良野

活動エリア	富良野広域圏
活動人数	活動者合計 5 人
これまでの活動実績	<p>1996年5月 情報過疎の打破と地域情報の発信を目的に Furano をドメインとした、地域プロバイダーの設立のため有限会社インターネット富良野設立</p> <p>1996年7月 一般第二種電気通信事業者（J-08-144）</p> <p>1996年10月 富良野地域を網羅したホームページの開設及びプロバイダー事業の開始</p> <p>1997年より 富良野市内の小中学校にインターネット無料接続事業を開始</p> <p>1999年より 文化事業（Jazz コンサートなど）の支援を継続して行う</p> <p>ホームページ <a href="http://www.furano.ne.jp">http://www.furano.ne.jp</a></p> <p>月間アクセス約 160 万ページビュー（2002年7月度）</p> <p>年間アクセス約 1,200 万ページビュー（2002年度）</p> <p>会員数 約 1,000</p>
沿道景観および地域資源の概要	富良野広域圏（美瑛も含む）の情報資源となるすべての地域資源（景観、道路や道路に付属する設備や施設、地域産業や生活者など）の活用が可能です。

<p>活動内容</p>	<p>モデルルートにおいて、地域資源を最大限に生かすことと、また快適なツーリング環境を作り上げるために、情報という切り口から多面的に地域資源の提供と発信を行うことを目的とする。</p> <p>快適なツーリング環境と地域資源の提供と発信を目指して 「インフォメーション・サテライト(情報交番)」による地域情報の提供と発信</p> <p>富良野エリアを訪れる人々や地域住民に快適なツーリング環境を提供するには、いつでもどこでも気軽にタイムリーな各種情報を入手できるような環境作りが大切です。また、地域資源の活用においても、リアルタイムの景観情報や地域固有の情報の発信が重要と考えます。そのような観点からわれわれグループはインターネットを核として、定点カメラによる景観の発信やミニ FM 放送などでの地域の各種情報の提供や発信をおこなうために、国道沿いのパーキングエリアや情報BOXなどの道路関連施設をフルに利用した、「インフォメーション・サテライト(情報交番)」の設置を考案しました。富良野エリア(広域圏)の各ポイントに、人々が必要な情報を容易に入手できるように、先端情報機器を駆使した「インフォメーション・サテライト(情報交番)」を設置し、快適なツーリング環境の提供を図るとともに、地域資源の発信にも利用しようというのがその趣旨です。</p> <p>具体案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野周辺の各ポイント(パーキングエリアなど)に、ランドマークとなるような、小さな(おしゃれな・美しい)「インフォメーション・サテライト」を設置する。</li> <li>「インフォメーション・サテライト」の役目は、ミニ FM の発信局、定点観測カメラの設置場所、及び無線LANの利用場所、および訪れる人々への情報提供施設となる。また、災害時での緊急連絡ポイントとしても活用する。</li> <li>・「インフォメーション・サテライト」内部に情報端末機器を設置し、ボタン一つで各種の各種情報(天気予報・宿泊情報・マップ・イベント情報・飲食店情報・緊急(災害)情報など地域に根ざした情報)が得られるようなシステムを作る。(光ファイバー回線によるインターネットを利用)</li> <li>・同時に映像機器やミニ FM 局のアンテナも設置し、情報端末の操作に慣れていない人でも、視覚と聴覚によって各種の情報が得られるように工夫すると同時に、国道沿いでのFM難聴解消とFMによる情報提供を行う。また、緊急時の防災システムとしても利用する。</li> <li>・各サテライトに定点観測カメラを設置し、地域景観や道路状況のなどが一目でわかるようにする。</li> <li>・無線LAN 設備を設置し、モバイル通信機器の利用が可能な場所にする。</li> <li>・提供コンテンツは「インフォメーション・サテライト」での利用はもちろんのこと、すべてをインターネット上で発信をし、メディアミックスによる活用を図る。</li> <li>・インフォメーション・サテライトに一カ所一名程度の管理人を置き、利用方法などのガイド役になっていただく。</li> <li>・地域住民を巻き込んだコンテンツ作りを行う。</li> </ul>
-------------	---

活動の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2003年度末までに実施計画の作成</li> <li>・2004年度末までに実施設計の完了</li> <li>・2005年度より構築及び運用</li> </ul>
活動の特徴	<p>地域プロバイダーとして、既存のインターネット設備や環境をフルに活用でき、加えて、運用中のホームページの知名度をいかした効果的な情報発信を行えます。また、コンテンツ作成や映像情報・ミニFMと連動した音声情報のインターネット配信も可能となり、作成コンテンツの多面的な活用が可能となります。また、これらの活動により地域雇用の拡大にもつなげることが可能となります。</p>
活動体制	<p>観光協会や自治体との連携による情報コンテンツの作成や、ボランティアを含めた地域住民によるミニFM局の番組作り、インフォメーションサテライトの運営を考えたい。</p>

### 32. 北のロマンスバイウェイ

活動エリア	美瑛町
活動人数	活動者合計 4 人
これまでの活動実績	丘のまち美瑛町の観光推進を図るため、昭和63年に全国各地の官公庁及び企業を対象として「美瑛町の写真集」を8,000部配布し、年間100万人を越える観光入込み数など、今日の美瑛町観光の礎をきづいたグループのひとり。また、次代の美しい景観づくりのため、交流機会が多く望められる国道237号の隣接地に「ぜるぶの丘＝かぜかおる丘で遊ぶ」を先駆的に取り組む。構成員は花のデザイナーで、町並み景観づくりに推進してきた。
沿道景観および地域資源の概要	1. 十勝岳連峰を背景とする山麓につながる丘陵景観 2. 統一したブランドイメージを成し遂げる町並み整備
活動内容	町並み景観の整備 北海道ならではの「花と色彩」をベースに町並み整備を推進する。 国道237号の市街地約1km区間に地域資源を活用して整備する。 統一したブランドイメージ成し遂げるため企画を検討する。
活動の達成目標	国道237号の市街地約1km区間の花壇整備の継続2,200㎡
活動の特徴	生産と暮らしが成り立つ経済の流通を推進するため、花壇に必要な花苗を種子から管理し、播種・育成・出荷の行程（経費の削減）を経て、雇用と地域流通を推進する。 花壇整備の具体は、経費削減と管理軽減を考慮し、3シーズン（春・夏・秋）植え替えしなくても採勝可能な造成方法をする。
活動体制	地域住民はもとより、札幌・東京びえい会など多くの美瑛町支援者を含めて、美しい農村景観をつくりあげる応援者（理解者）を集う。